

幼稚舎サイエンスミュージアムの 構築と教育的な活用II

「小学校の中に小さなミュージアムがあったら何て素敵なんだろう」という発想からスタートしたプロジェクトです。
2008年度で2年目となり、ますます充実してきました。

相場博明(幼稚舎教諭)

①サイエンスミュージアムの展示スペースの充実

本館にある第1展示室を大幅にリニューアルし、無脊椎動物コーナー、貝殻コーナー、昆虫コーナー、両生類・爬虫類コーナー、植物コーナーを設置した。また、認定書コーナー、タッチパネルPCとテーブルも設置した。また、第2展示室では化石・恐竜コーナーを、第3理科室エリアでは鉱物コーナーをより充実させた。さらに第3理科室の中には科学史教材の展示コーナーも新たに設置した。



第1展示室



第2展示室



第3展示室



科学史教材展示コーナー

②展示する標本類の充実

昆虫コーナーでは日本産甲虫、蝶類、トンボ、外国産甲虫などを中心に揃えた。また、古生物関係の展示物もとくに充実させることができた。



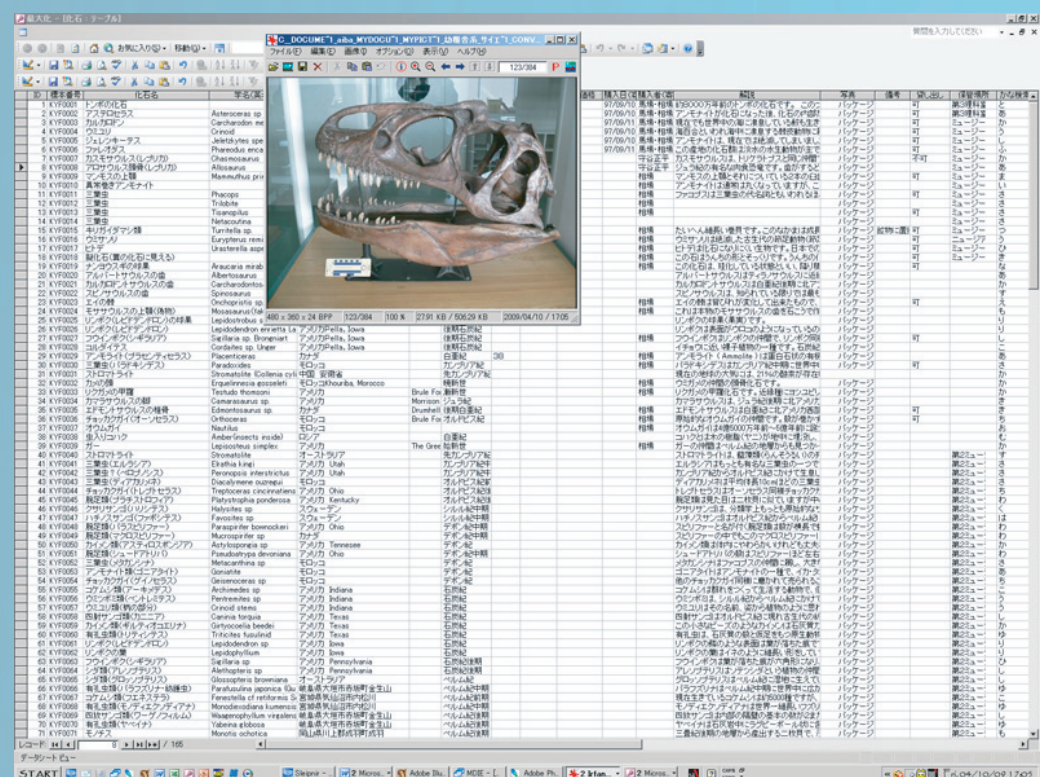
昆虫コーナー



古生物を中心とした地球史の展示



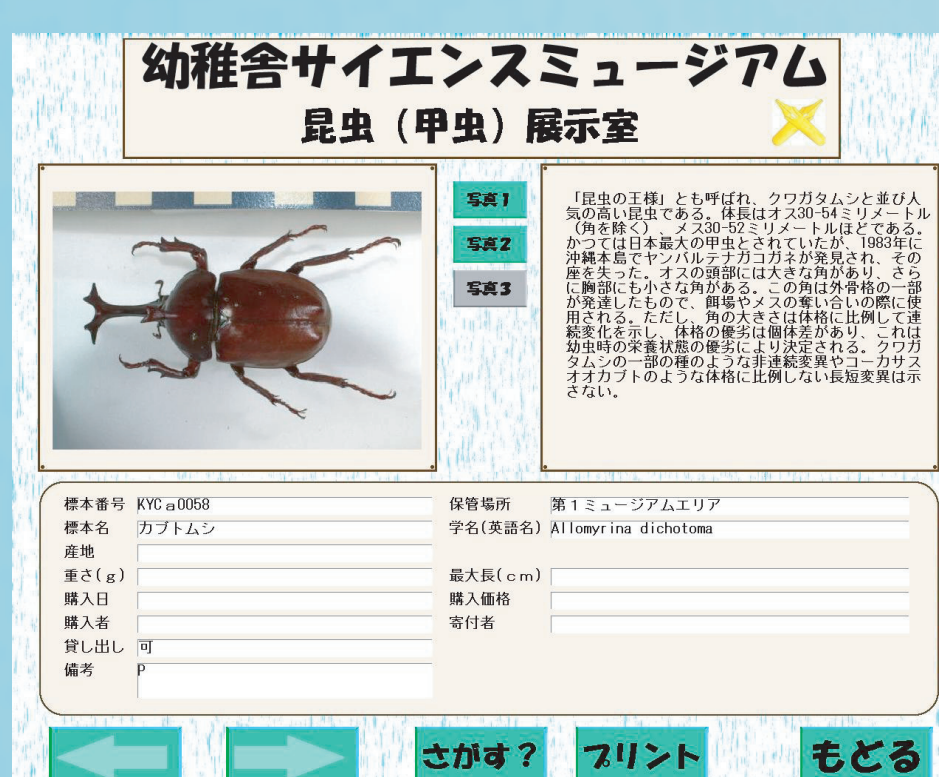
③標本類のデータベース化



Microsoft Accessによるデータベース



ミュージアム内PCのトップページ



児童が参照出来るデータベースの様子

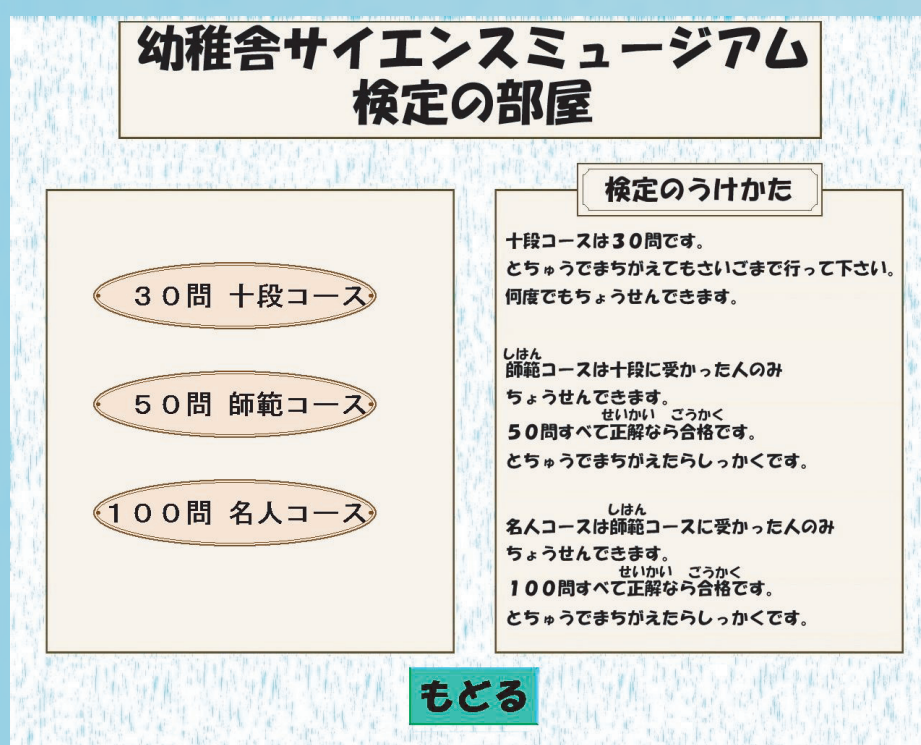
2007年度は、データベースのプロトタイプを完成させたが、2008年度はさらにそのバージョンアップを図り、ほぼ完成させることができた。データの入力も昆虫類、化石類、鉱物類を中心に多くの情報が入力できた。児童はミュージアム内のPCからデータベースにアクセスが可能である。

④標本を利用した教育プログラム（PC検定システムの開発）

データベースを利用した自然検定システムを開発した。児童はこれで楽しみながら自分の好きな検定を受けることができる。



検定の部屋では各種の検定が、展示室ではデータベースを見ることが出来る



検定方法の説明



検定に合格すると結果を印刷することが出来る